

# 学力のプロテイン

～宝泉中 学習通信～NO. 3

期末試験も近づいてきています。ワークなどテストの課題になりそうなものは計画的に進めていますか？今回は「勉強の基本は授業にあり。」ということで授業の受け方のポイントを紹介します。ぜひ毎日の授業のルーティンにしてください。



## 授業の受け方5つのポイント

### 1 先生の話や友だちの意見をしっかりと聞き、自分の意見もしっかりと伝える。

勉強はインプットもアウトプットも大切。対面の授業では「インプット7割、アウトプット3割」の割合がよいと言われています。しっかりと先生の話や友達の意見を聞き、ポイントを掴みましょう。これがインプットです。さらに、考えたこと伝えたり、意見を書いたり、友達に教えたりすることが、アウトプットになります。どちらも行うことが大切。偏らないように授業を受けましょう。

### 2 自分から進んで考え、学習内容は授業中に理解する。

何事も意欲を持って取り組むと上達が早い。今日はどんなことをやるのかしっかりと掴み、授業中に理解するつもりで集中して授業を聞きましょう。疑問に思ったことは、その場ですぐに質問しましょう。「鉄は熱いうちに打て」です。

### 3 ノートは黒板を写すだけでなく、先生の話やポイント、自分の考えのメモを書き込んでいく。

「ノートにきれいに写そう！」ノートをカラフルにデコレーションして一見、「勉強」をしているように感じられますが、それが写すだけの「作業」になってしまっている人も多いです。「きれいに書くことを優先してしまい、授業で先生や友達の話を聞いていない」なんてことはありませんか。読めない字では困りますが、字がきれいだから、カラフルだから美しいではなく、「自分の考えや気づきが自分だけの法則でまとまっているから美しい」というノートを目指しましょう。後から読んで、ポイントが一目で分かるノートを作りたいですね。

#### ☆ノートの工夫の例☆

①色：「色数が多い」より「色に意味」（赤：重要、青：ポイント、気づき など）

②余白：「少ない」より「多い」（余裕を持って書こう）

③板書：「ただ写す」より「重要な所にイラストや吹き出し等で強調を」

### 4 分からないことはそのままにしないで、解説や教科書を読んでから、先生や友だちに質問する。

分からない場所をそのままにしておいても分かるようにはなりません。質問することが大切になりますが、ただ「分からない」だけでは、先生も友達も説明のしようがありません。そこで、教科書や問題の解説を一度読んで「〇〇の部分が分からない」のように、ポイントを絞った質問ができるようになると力もグングン伸びていきます。

### 5 授業中に今日、家で復習する箇所をチェックしておく。

今日家で復習する所を考えながら授業を受けましょう。「ここはちゃんと理解できたかあやしいな」とチェックしておく、家での復習ポイントが掴めて、後がとても楽になります。また、2でも書きましたが、できるだけ授業で理解できてしまう方がよいです。授業中に復習する場所をしっかりと選ぼうと思いつつながら、先生の話や友達の話を聞くとそれだけで集中力があがります。

**授業の時間はみんな平等に50分。ここでの積み重ねがのちのち大きな差になります！！**